施工業者様用

注意！　施工は必ず両面テープ施工してください。

施工説明書

ニュースタイル床材　ラグリフロアー

ニュースタイル床材＜ラグリフロアー＞をご採用頂きましてありがとうございます。この説明書には施工上の重要な項目が記載されています。当製品を長期間美しく安全にお施主様に使用して頂けるよう、またトラブルのない確実な施工をして頂くためにも、施工の際にはよく読み、以下の事を必ずお守り下さい。

■内容物■

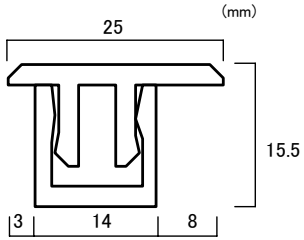
製　品　名	：	ラグリフロアー
サ　イ　ズ	：	12×880×880mm
基　　材	：	木質繊維板
表　　面	：	機械抄和紙織物
重　　量	：	約3kg/枚
梱包・入数	：	ダンボードケース梱包・2枚入、3枚入
同　梱　物	：	施工説明書、取扱説明書

⚠注 意　取扱いを誤った場合、使用者が障害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される場合

- 標準施工は専用見切＜座ライフ見切FS＞を使用して下さい。
- 施工は天井･壁の施工が終わってから必ず最後に行って下さい。
- 当製品は住宅の上履き用ですので、店舗などの重歩行用には使用しないで下さい。
- 施工には下地材が十分に乾いているのをよく確認し、万一濡れている場合は絶対に施工しないで下さい。
- 床下地が床として十分な強度を持つように施工されている事を必ず確認して下さい。
- 座ライフ見切FSはABS樹脂の為、温度変化により目隙が発生する事があります。ABS樹脂の寸法変化率は約0．13%(20℃～40℃)です。同梱の接着剤を使用して施工して下さい。
- 当製品は敷込み専用ですので、置き敷きで使用しないで下さい。
- 当製品は床暖房対応ではありません。

（専用見切）

製　品　名	：	座ﾗｲﾌ見切FS
		ML:ミルベージュ色
		MT:ティーブラウン色
		MF:カフェブラウン色
		MW:ダルブラウン色
サ　イ　ズ	：	6尺タイプ:1880mm
		8尺タイプ:2790mm
基　　材	：	ABS樹脂＋AAS樹脂
梱包・入数	：	ダンボールケース梱包・2本入り
同　梱　物	：	施工説明書・勘合用接着剤・ベース固定用ビス



OK-T13-101001

施工手順　※施工は天井及び壁の施工が終わってから行なって下さい。

1．下　地

根太（45×45mm以上）を303mm間隔以下で組み、12mmの合板捨て貼りを行ないます。
この時に継ぎ目に段差が出来ないように行ないます。

2．割付け

敷き込み部の各辺の長さを測定し、片寄りなく歩留が良いように割付け図を作成します。

3．下地清掃

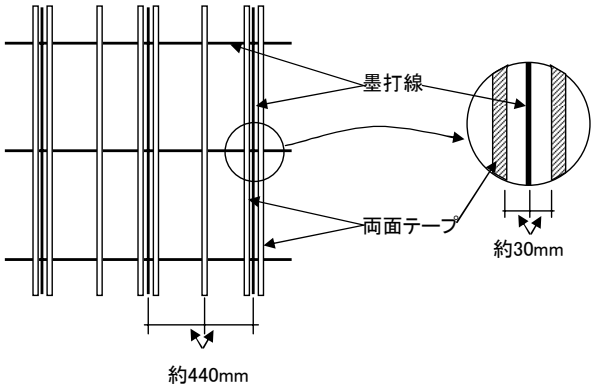
下地面のゴミ･ホコリをよく拭き取ります。
※拭き取りが不充分ですと、両面テープの接着が不充分になる可能性があります。

4．墨打ち

割付け図に従い墨打ちを行います。

5．両面テープの取付け

割付け図に従って、製品四隅が留めれるように市販の両面テープを取付けます。
また、製品の中央部にもテープが取り付けられるようにします。



両面テープは、市販のカーペット用両面テープを使用して下さい。
（日東電工No.523、寺岡製作所＃711、積水化学工業＃610　25mm幅相当品）
テープ取り付けは、墨打ち線に沿って約30mm程度逃がして取付けます。
準備するテープの目安は、市販の15m巻き1本で約5枚分施工が可能です。

6．敷き込み

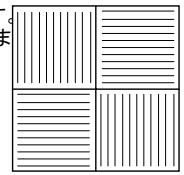
① 製品表は織物のため、織りのバラツキや色のバラツキが若干あります。
敷き込み前に色調･柄方向を十分に確認しながらバランス良く配置しま
（この時、市松模様になるように配置するのをお薦めします）

② 敷き込みは必ず墨に従い、中央から行ないます。

③ 敷き込む部分の両面テープの離型紙を剥がします。

④ 次に墨打ち線に製品の一辺を合わせ、ずれないように取付けます。

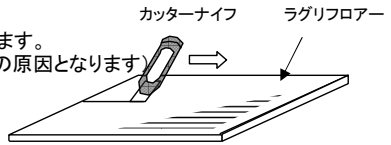
⑤ 取付け後、製品の四隅を踏みつけて押さえ込んで下さい。
※押さえ込みが不充分ですと、両面テープの接着が不充分になる可能性があります。


市松模様

7．製品切断

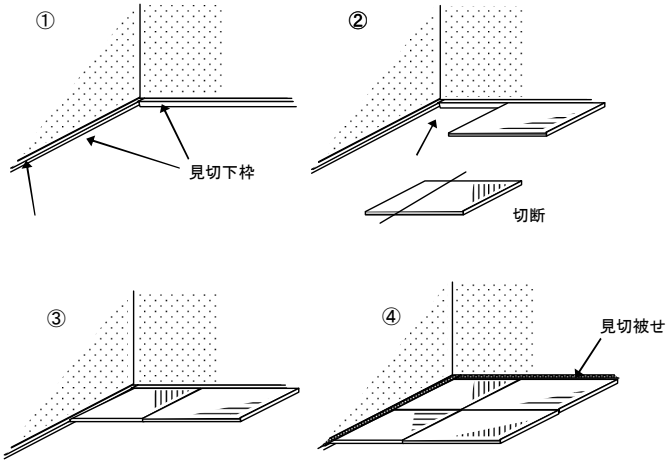
納め部は製品を切断して下さい。切断につきましては下記にご注意下さい。

- 切断はカッターナイフで行なって下さい。カッター刃は新しいものを使用します。
  （カッター刃が古いとおもて材が上手く切断できません）
- 切断寸法、イチ、柄方向（市松模様に納める場合は特にご注意下さい）を十分に確認して切断位置に線引きします。
- 切断時の下敷きは必ず行ないます。
- 切断はなるべく1回もしくは2回で切断します。
  （何度も行ないますとおもて材のほつれの原因となります）

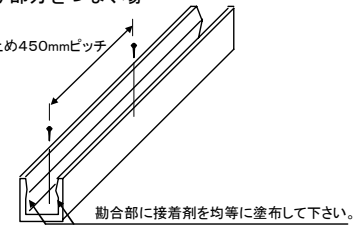


8．納め

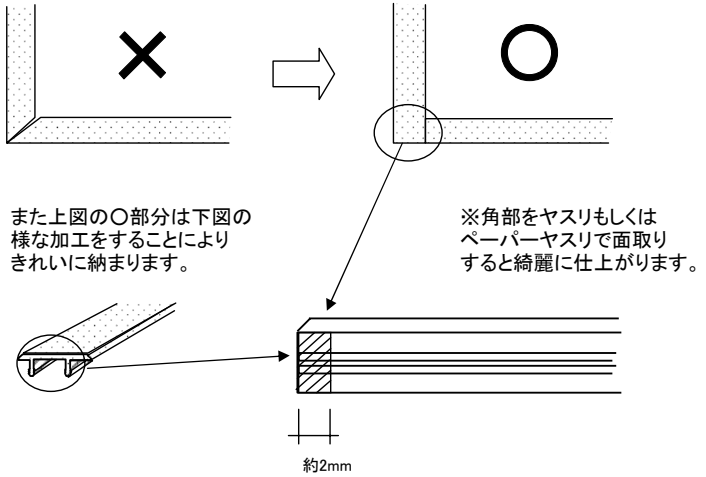
四周部分の納めは、専用の座ライフ見切FSを用いて納めます。
座ライフ見切FSの下枠部分を予め本体施工前に取り付けておきます。
取り付けは450mm間隔でビスと目して下さい。
見切受け部分の取付けは壁面から1mm程度隙間を空けて施工して下さい。
本体を施工後、座ライフ見切FSの被せ部分を取付けます。



※見切の取り付けは同梱の接着剤をご使用下さい。
接着剤は見切継ぎ部分と見切被せ部分と受け部分の全面に塗布して下さい。また見切の被せ部分と受け部分をつなぐ場合は位置をずらしてついで下さい。

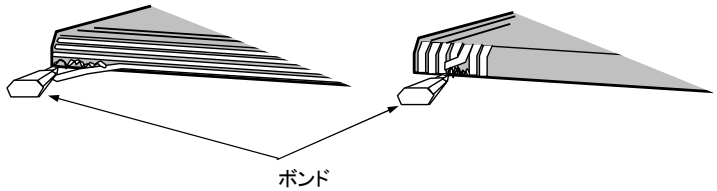


※納め材の取りあい部分の加工（推奨方法）について
（座ライフ見切FSはABS樹脂で出来ていますので温度変化により目隙が発生することがあります）



見切被せの 部分を欠くことによりすっきりとした納まりが可能です。

※取り扱い時に、おもて材がほつれたりした場合はホットメルトもしくは酢ビ接着剤で補修して下さい。



ボンドを軽く塗り、離型紙などで軽く押さえて下さい。

大建工業株式会社
西部エコ事業部
岡山市南区海岸通2－5－8　TEL:086-262-6749